

【本資料は、2022 年 4 月 28 日付で発表された Standard Chartered PLC 1Q'22 Results(一部抜粋)の日本語参考訳です。】

スタンダードチャータードPLC — 2022年度第1四半期業績

別段の注記がない限りすべての数字は特別要因調整後ベースで表示されており、比較の対象は報告通貨ベースで 2021 年度としています。特別要因調整後の業績に含まれていない再編関連コストおよびその他の項目の内容は、原文「Standard Chartered PLC 1Q'22 Results」の 26～30 ページに記載しています。

ビル・ウィンターズ グループ最高経営責任者

「当行グループは第 1 四半期に、変動の激しいマクロ環境にもかかわらず好調な業績を達成しました。潜在的なビジネスモメンタムの強さに支えられて、税引前利益は前年同月比で 4% の増益となりました。2 月に策定した 5 つの戦略的アクションは順調に進んでおり、遅くとも 2024 年には 10% の ROTe を達成できる軌道に乗っています。」

戦略的アクションの進捗状況

- **法人営業・コマーシャルバンキング部門(CCIB):リターンを向上させる:** 収益のリスク加重資産利益率は 6.4% へ 1.1 ポイント上昇しました。ターゲットを絞った 220 億ドル相当の RWA 最適化イニシアチブのうち 60 億ドルが実行されました。
- **コンシューマー／プライベート／ビジネスバンキング部門(CPBB):収益性を転換する:** 98,000 件のマスマリテール・パートナーシップ顧客を獲得しました。
- **中国における機会の獲得:** 中国-ASEAN のコリドー・ネットワークの収益は前年同期比 35% の増益となりました。
- **オペレーションのレバレッジを生み出すコスト規律:** 構造的費用の総額を 7,200 万ドル削減しました。
- **株主への潤沢な配当:** 7 億 5,000 万ドル相当の株式買戻しは約 80% 完了しました。
- **アフリカ・中東(AME)地域のリソースを、最も規模が大きく潜在的な成長力が高い既存および新規の市場に振り向けています。**
- **サステナビリティ:** 当行グループのファイナンスから生まれる排出量を 2050 年までにいかにネットゼロにするかを明確に示すように、ロードマップの見直しを行いました。

2022 年第 1 四半期の業績の概要

- **有形資本利益率(RoTE)**は前年同期から 30bps 上昇して 11.1% となりました。
- **収益**は 43 億ドルと、前年同期比 9%、為替変動の影響を除いたベースでは 11%、為替変動と債務評価調整(DVA)の影響を除いたベースでは 9% の増収となりました。
 - 純金利収入は、為替変動の影響を除いたベースでは 10% の増収となりました。
 - ファイナンシャルマーケットは、為替変動と債務評価調整(DVA)の影響を除いたベースで、前年同期比 4 億ドル(27%) の増収となりました。
 - トランザクションバンキングでは良好なモメンタムが続き、為替変動の影響を除いたベースで、6% の増収となりました。
 - ウェルスマネジメントは為替変動の影響を除いたベースで、全体で 1 億ドル(17%) の減収、うち最大市場である香港では同 26% の減収となりました。
 - 純資金利ざや(NIM)は、構造的なヘッジプログラムと金利上昇の影響により前四半期 10bps アップの 1.29% となりました。
- **費用**は 26 億ドルへ前年同期比 6% 増加、為替変動の影響を除いたベースでは 8% の増加となりました。
 - 業績連動型報酬の発生額、および戦略的イニシアチブとベンチャー部門への投資額が増加しました。
 - 為替変動と債務評価調整(DVA)の影響を除いたベースでは、収益の伸び率が費用の増加率を 1% 上回りました。
- **信用減損**は 2 億ドルと、前年同期比では 1 億 8,000 万ドル増加、前四半期比では 300 万ドル減少しました。
 - このうち 1 億 6,000 万ドルは中国不動産セクターへのエクスポージャーに関係したもの、1 億 700 万ドルはスリランカのソブリン格付けがステージ 3 に引き下げられたことによります。
 - マネジメント判断による調整(オーバーレイ)の総額は前四半期から 1 億 400 万ドル減の 2 億 3,900 万ドルで、この内訳は新型コロナ関係が 1 億 5,300 万ドル、中国の不動産関係が 8,600 万ドルとなっています。
 - 当第 1 四半期にハイリスク資産はやや減少し、7 四半期連続で改善しました。
- **特別要因調整後の税引前利益**は、為替変動の影響を除いたベースで 5% 増益の 15 億ドル、法定ベースの税引前利益は同 7% 増益の 15 億ドルとなりました。
- **税金**は 3 億 1,300 万ドル。利益の地域区分の変更により、特別要因調整後の実効税率は 1.1 ポイント低下し、21.1% となりました。
- 当行グループの**バランスシート**は依然として磐石かつ流動性が高く、十分に分散されています。
 - 顧客向け貸付金その他の金銭債権は 2021 年 12 月 31 日から 30 億ドル(1%) 減少、RWA 最適化の取組みと為替の影響を除くと 40 億ドルの増加となりました。
 - 預貸率は 60.0% (2021 年 12 月 31 日時点では 59.1%)、流動性カパレレッジ・レシオは 140% (同 143%) でした。
- **リスク加重資産(RWA)**は 2,610 億ドルと、2021 年 12 月 31 日から 100 億ドル減少しました。
 - 信用リスク加重資産は 90 億ドル減少。規制変更の影響により 60 億ドル増加しましたが、法人営業・コマーシャルバンキング(CCIB)部門における 60 億ドルの最適化、および 70 億ドル相当のその他の効率化の取組みの効果によって相殺されました。
 - 市場リスク加重資産は 15 億ドル減少して 230 億ドルとなり、オペレーショナルリスク加重資産は横ばいで推移しました。
- グループは依然として十分な自己資本と高い流動性を有しています。
 - 普通株式等 Tier 1 比率(CET1 比率)は 13.9% でした(21 年 12 月 31 日時点では 14.1%)。利益とリスク加重資産減少の効果が、規制の変更と株式買戻しプログラムによって 100bps 相殺されました。
- **1 株当たり利益**は 1.3 セント(4%) 増加して 34.8 セントになりました。

見通し

2022 年のスタートは好調で、最近の地政学的な情勢は経済回復のペースを予想しにくくしているものの、金利の見通しにはプラスに働いていま
す。このため 2022 年度には、

- 収益の増加率は以前に示された5%-7%の範囲をわずかに上回る見通しです。
- 営業費用も以前に示された107億ドルをやや上回ると見込まれます。これは、増益ペースの加速が業績連動報酬に与える影響によるもので
す。当行グループは引き続き、費用の増加率よりも高い収益の伸びを実現できると予想しています。
- 信用減損については、中期的な信用損失率が30-35bpsの範囲に向かって正常化しはじめるとみられます。
- 当行グループは、CET1比率を13-14%のターゲットレンジの範囲に維持しながら、ダイナミックにビジネスを展開していく意向です。
当行グループは遅くとも 2024 年には、10%の ROTE を達成できる軌道に乗っています。

他の通貨を指すと明記されている場合を除き、本資料内の「ドル」という語または「\$」の記号は米国ドルを指し、「セント」という語または「c」の記号は 1 ドルの 1/100 を意味します。

本資料に記載する情報は監査を受けていません。

文脈上別段の解釈が必要な場合を除き、本資料において「中国」は中華人民共和国を指し、本資料においてのみ、香港特別行政区(香港)、マカオ特別行政区(マカオ)および台湾は含まれません。「韓国」は大韓民国を指し、「アジア」にはオーストラリア、バングラデシュ、ブルネイ、カンボジア、中国、香港、インド、インドネシア、日本、韓国、ラオス、マカオ、マレーシア、ミャンマー、ネパール、フィリピン、シンガポ
ール、スリランカ、台湾、タイ、ベトナムが含まれ、「アフリカ・中東(AME)」には、アンゴラ、バーレーン、ボツワナ、カメルーン、コートジボワール、エジプト、ガンビア、ガーナ、イラク、ヨルダン、ケニア、レバノ
ン、モーリシャス、ナイジェリア、オマーン、パキスタン、カタール、サウジアラビア、シエラレオネ、南アフリカ、タンザニア、アラブ首長国連邦(UAE)、ウガンダ、ザンビア、ジンバブエが含まれます。また「ヨ
ーロッパ・米州(EA)」には、アルゼンチン、ブラジル、コロンビア、フオー克蘭諸島、フランス、ドイツ、アイルランド、ジャージー、ポーランド、スウェーデン、トルコ、英国、米国が含まれます。

本資料に記載する表では、空欄はその数値が発表されていないことを示し、ダッシュはゼロであること、「nm」は僅少であることを示しています。

スタンダード チャータード PLC はイングランドおよびウェールズにおいて設立された有限責任会社であり、ロンドンに本社を置きます。当行グループの本社では、ガバナンスおよび規制基準に関する助言
を提供しています。スタンダードチャータード PLC の株式の銘柄コードは LSE STAN.LN および HKSE 02888 です。

【参考訳に関するご留意事項】

この資料は、スタンダードチャータード銀行東京支店(以下、「当行」と言います。)が、お客様の便宜のために、英語その他の言語の情報を日本語に翻訳し、提
供させていただいております。従いまして、当行は、この資料に記載された情報につきまして、独自の検証を行っておりません。専門用語のみならず、翻訳の正
確性も保証しておりません。英文資料が正文であり、英文資料と翻訳との間で齟齬がある場合には、英文資料が全てにおいて優先します。

損益計算書

	22 年 第 1 四半期 百万ドル	21 年 第 1 四半期 百万ドル	増減 ¹ %
特別要因調整後ベースの業績			
営業収益	4,274	3,929	9
営業費用(英国銀行税を含む)	(2,636)	(2,494)	(6)
信用減損	(200)	(20)	nm
その他減損費用	(1)	(16)	94
関連会社利益	63	47	34
税引前利益	1,500	1,446	4
普通株主に帰すべき利益／(損失) ²	1,060	1,053	1
有形資本利益率(RoTE)(%)	11.1	10.8	30bps
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	61.7	63.5	180bps
法定ベースの業績			
営業収益	4,292	3,939	9
営業費用	(2,665)	(2,528)	(5)
信用減損	(197)	(17)	nm
営業権(のれん代)減損	-	-	nm
その他減損費用	(6)	(28)	79
関連会社利益	68	47	45
税引前利益	1,492	1,413	6
税金	(313)	(314)	-
当期利益	1,179	1,099	7
親会社株主に帰すべき利益／(損失)	1,176	1,092	8
普通株主に帰すべき利益／(損失) ²	1,055	1,027	3
有形資本利益率 (RoTE) (%)	11.1	10.6	50bps
費用収益比率(銀行税を含む)(%)	62.1	64.2	210bps
バランスシートと資本			
総資産	839,117	804,903	4
総資本	51,840	52,275	(1)
普通株主に帰すべき平均有形株主資本 ²	38,614	39,464	(2)
顧客向け貸付金その他の金銭債権	295,785	292,084	1
顧客口座	456,404	441,684	3
リスク加重資産	260,833	276,670	(6)
総自己資本	55,036	58,531	(6)
総自己資本比率 (%)	21.1	21.2	(10)bps
普通株式等 Tier 1	36,296	38,711	(6)
普通株式等 Tier 1 比率 (%)	13.9	14.0	(10)bps
純資金利ざや(%) ^(調整後)	1.29	1.22	7bps
預貸率 (%) ³	60.0	62.7	(2.7)
流動性カバレッジ率 (%)	140	150	(10)
英国レバレッジ率 (%)	4.4	5.1	(70)bps
普通株式1株当たりの情報			
1 株当たり利益 -特別要因調整後ベース ⁴	34.8	33.5	1.3
-法定ベース ⁴	34.6	32.6	2.0
1 株当たり純資産額 ⁵	1,460	1,433	27
1 株当たり純有形固定資産額 ⁵	1,276	1,270	6
期末時点の普通株式数(百万株)	2,993	3,118	(4)

1 資産、債務、リスク加重資産以外については、増減は改善／(悪化)を示します。総自己資本比率(%）、普通株式等Tier 1比率(%）、純資金利

ざや(%）、預貸率(%）、流動性カバレッジ率(%）、英国レバレッジ率(%）については、増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージの差（パーセンテージ・ポイント）で示されています。1株当たり利益、1株当たり純資産額、1株当たり純有形固定資産額については、増減は増減率ではなく、二時点間のセントの差で示されています。

- 2 普通株主に帰すべき利益／（損失）は、非累積償還優先株、および株式に分類されるその他 Tier1(AT1)資本証券の保有者に対する支払配当を控除した後の数値です。
- 3 本比率の算出にあたっては、顧客向け貸付金その他の金銭債権の総額から、リバース・レポ契約等担保付貸出金、およびストレス時に返済可能と確認された、中央銀行に保有された承認済みの残高を除いており、一方で、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される顧客向け貸付金その他の金銭債権を含んでいます。総顧客口座数はFVTPLで保有される顧客口座を含んでいます。
- 4 特別要因調整後ベースまたは法定ベースの利益を基本的加重平均株式数で割った数値です。
- 5 期末時点の純資産額、純有形固定資産額および株式数により算出した数値です。

顧客セグメント別の特別要因調整後の業績

22 年第 1 四半期					
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門 (百万ドル)	コンシューマー／ プライベート／ ビジネスバンキング 部門 (百万ドル)	ベンチャー 部門 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	2,572	1,423	1	278	4,274
外部収益	2,449	1,327	1	497	4,274
セグメント間収益	123	96	-	(219)	-
営業費用	(1,326)	(1,017)	(72)	(221)	(2,636)
クレジットコスト・税引前営業利益／(損失)	1,246	406	(71)	57	1,638
信用減損	(147)	(34)	(3)	(16)	(200)
その他減損費用	-	-	-	(1)	(1)
関連会社利益	-	-	(3)	66	63
特別要因調整後の税引前利益／(損失)	1,099	372	(77)	106	1,500
再編関連コスト	(2)	(7)	-	1	(8)
法定ベースの税引前利益／(損失)	1,097	365	(77)	107	1,492
総資産	420,168	138,063	1,115	279,771	839,117
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ²	200,625	135,333	115	27,979	364,052
顧客向け貸付金その他の金銭債権	135,704	135,279	115	24,687	295,785
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	64,921	54	-	3,292	68,267
総債務	489,720	182,197	693	114,667	787,277
うち顧客口座 ²	329,206	177,953	621	10,277	518,057
リスク加重資産	156,753	53,463	876	49,741	260,833
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	14.0	14.4	nm ³	0.9	11.1
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	51.6	71.5	nm ³	79.5	61.7

21 年第 1 四半期(修正済み) ¹					
	法人営業・ コマーシャルバンキング 部門 (百万ドル)	コンシューマー／ プライベート／ ビジネスバンキング 部門 (百万ドル)	ベンチャー 部門 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	2,161	1,533	(2)	237	3,929
外部収益	2,057	1,428	(2)	446	3,929
セグメント間収益	104	105	-	(209)	-
営業費用	(1,288)	(986)	(36)	(184)	(2,494)
クレジットコスト・税引前営業利益／(損失)	873	547	(38)	53	1,435
信用減損	28	(47)	-	(1)	(20)
その他減損費用	(16)	-	-	-	(16)
関連会社利益	-	-	(1)	48	47
特別要因調整後の税引前利益／(損失)	885	500	(39)	100	1,446
再編関連コスト	1	(9)	-	(25)	(33)
法定ベースの税引前利益／(損失)	886	491	(39)	75	1,413
総資産	388,719	135,259	563	280,362	804,903
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ²	192,953	132,602	-	21,620	347,175
顧客向け貸付金その他の金銭債権	137,984	132,486	-	21,614	292,084
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	54,969	116	-	6	55,091
総債務	488,661	178,183	722	85,062	752,628
うち顧客口座 ²	317,934	173,821	689	8,503	500,947
リスク加重資産	168,425	56,137	454	51,654	276,670
特別要因調整後のRoTE(有形資本利益率)(%)	11.1	18.9	nm ³	2.4	10.8
費用収益比率(銀行税を除く)(%)	59.6	64.3	nm ³	77.6	63.5

1 ベンチャー部門の経営に対する戦略的重要性の増大およびその報告を受けて、同部門は2022年に独立したセグメントになりました。前の

期間の数値は修正されています。

- 2 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」にはFVTPLで保有されるものおよびレボ契約を含んでいます。
- 3 僅少

地域別の特別要因調整後の業績

22 年第 1 四半期					
	アジア (百万ドル)	アフリカ・中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	2,797	659	857	(39)	4,274
営業費用	(1,671)	(403)	(381)	(181)	(2,636)
クレジットコスト・税引前営業利益／(損失)	1,126	256	476	(220)	1,638
信用減損	(285)	46	36	3	(200)
その他減損費用	-	-	-	(1)	(1)
関連会社利益	66	-	-	(3)	63
特別要因調整後の税引前利益／(損失)	907	302	512	(221)	1,500
再編関連コスト	(9)	1	3	(3)	(8)
法定ベースの税引前利益／(損失)	898	303	515	(224)	1,492
総資産	475,917	55,458	298,207	9,535	839,117
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	263,871	26,175	74,006	-	364,052
顧客向け貸付金その他の金銭債権	240,809	24,606	30,370	-	295,785
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	23,062	1,569	43,636	-	68,267
総債務	424,264	43,287	252,035	67,691	787,277
うち顧客口座 ¹	334,813	34,705	148,539	-	518,057
リスク加重資産	163,447	45,154	49,619	2,613	260,833
特別要因調整後のリスク加重資産利益率(%) ²	2.1	2.6	4.1	nm ⁴	2.2
特別要因調整後の有形資本利益率(%) ²	11.3	13.2	21.0	nm ⁴	11.1
費用収益比率 (%) ³	59.7	61.2	44.5	nm ⁴	61.7

21 年第 1 四半期					
	アジア (百万ドル)	アフリカ・中東 (百万ドル)	ヨーロッパ・ 米州 (百万ドル)	その他 (百万ドル)	合計 (百万ドル)
営業収益	2,817	590	550	(28)	3,929
営業費用	(1,572)	(393)	(366)	(163)	(2,494)
クレジットコスト・税引前営業利益／(損失)	1,245	197	184	(191)	1,435
信用減損	(58)	(7)	47	(2)	(20)
その他減損費用	-	-	2	(18)	(16)
関連会社利益	47	-	-	-	47
特別要因調整後の税引前利益／(損失)	1,234	190	233	(211)	1,446
再編関連コスト	(5)	(1)	(19)	(8)	(33)
法定ベースの税引前利益／(損失)	1,229	189	214	(219)	1,413
総資産	468,748	57,618	269,560	8,977	804,903
うち顧客向け貸付金その他の金銭債権 ¹	247,424	28,548	71,203	-	347,175
顧客向け貸付金その他の金銭債権	235,572	27,110	29,402	-	292,084
損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有される貸付金	11,852	1,438	41,801	-	55,091
総債務	418,288	39,102	224,097	71,141	752,628
うち顧客口座 ¹	334,908	31,465	134,574	-	500,947
リスク加重資産	178,541	50,640	49,848	(2,359)	276,670
特別要因調整後のリスク加重資産利益率(%) ²	2.8	1.5	1.9	nm ⁴	2.1
特別要因調整後の有形資本利益率(%) ²	15.1	7.9	10.0	nm ⁴	10.8
費用収益比率 (%) ³	55.8	66.6	66.5	nm ⁴	63.5

1 「顧客向け貸付金その他の金銭債権」には、損益を通じて公正価値(FVTPL)で保有されるものを含み、「顧客口座」にはFVTPLで保有されるものおよびレポ契約を含んでいます。

2 増減は増減率ではなく、二時点間のベース・ポイントの差で示されています

3 増減は増減率ではなく、二時点間のパーセンテージの差(パーセンテージ・ポイント)で示されています。

4 僅少